

基本方針・施策体系案について

基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む

<課題>

- 人口減少やデジタルトランスフォーメーション、地球環境問題などがこれまで以上に進行しており、将来の予測が困難な状況となっています。また、グローバル化、超スマート社会の実現に向けた技術革新も急速に進んでいる中で、論理的な思考力・判断力・表現力・他者との調整力・新たな価値を創造していく力を育むために、町田市の強みを活かした学びを推進する必要があります。
- 人生100年時代を迎え、健やかな身体と心を育成していくことや、変化に対応していくため、生涯にわたって学ぶ意欲を育てることが重要となっています。

- ☞ えいごのまちだ推進事業など、町田ならではの強みを生かし、これからの時代に必要な知識・技能・判断力・表現力・創造力・粘り強さやコミュニケーション能力を学びのプロセスを通じて育みます。
- ☞ めざす姿：主体的に自己調整しながら学び続ける土壌を根付かせることで、生涯にわたり学びを通じて、社会とつながっている。
- ☞ めざす姿：学び続ける意欲を持ち、予測不可能な未来を生き抜く力が育まれている。

<施策案> 【重点事業案 p.2】
学びのきっかけとなる機会を提供する

基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する

<課題>

- 子どもたちを取り巻く社会問題として、不登校児童・生徒数、特別支援教育を受ける児童・生徒数の増加やいじめ重大事態の発生が挙げられます。様々な環境に置かれている児童・生徒に対して、一人ひとりのニーズに応じて安心して学べる環境を整えていく必要があります。
- 多様な社会的課題を抱えている方など、学ぶことに支援が必要な方へ学びの機会を提供する必要があります。

- ☞ 一人ひとりの教育的ニーズは異なるという前提に立ち、それぞれの特性に応じた多様な学びを推進します。
- ☞ めざす姿：どのような境遇にあっても、学びたいという意欲を妨げられることなく、安心して学びに向き合い、学び続けることができている。

<施策案> 【重点事業案 p.6】
多様な学びの機会を提供する

基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことのできる環境を整備する

<課題>

- 将来を見据え、小・中学校の機能向上と老朽化対策を目的とした改修・建替えを計画的に進め、学校施設に求められる機能・性能の確保やライフサイクルコストの削減を図っていく必要があります。
- また、町田市ならではの魅力的な教育環境の実現に向けた取組が求められています。
- 市民が必要な知識を得るための情報をインターネット上から得ることが多くなっています。こうした状況に対応して、学びの環境のデジタル化を推進する必要があります。
- 持続可能な学びの環境をつくることが求められています。

- ☞ 新たな学校づくりを契機とした、子どもも大人も学ぶことのできる学校づくりや、社会の変化に応じて、学習施設だけでなくデジタルでも学びにアクセスできるような多様な学びの環境づくりを推進します。
- ☞ めざす姿：環境変化に対応し、いつでもどこでも誰でも学びに出会うことができ、学び続けることができる環境が整備されている。

<施策案> 【重点事業案 p.8】
将来を見据えた多様な学びの環境を整備する
学び続けることができる環境を整備する

基本方針Ⅳ 地域とともに学ぶ力を高める

<課題>

- 多忙化している教員の業務の適正化を図り、教員がいきいきと子どもに向き合うことのできる体制を確保することが求められています。
- 「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働本部」の仕組みを最大限に活用し、地域が一体となって子どもたちの学びや育ちを支えていく必要があります。
- 学校、地域、家庭、市民団体、行政が共創することにより、市民が将来にわたり学ぶ環境を持続させることが出来る体制を構築することが必要となっています。

- ☞ 学校、地域、家庭、市民団体、行政が共創することで、学びの場を広げ、学ぶ力を育む体制を充実させ、地域で学び続ける力を高めていきます。
- ☞ めざす姿：地域資源を活かし、共創により学校を中心とした多様な学びが充実し学び続けることができている。

<施策案> 【重点事業案 p.11~】
地域での学びを推進する
学習成果を活かす機会の整備を整備する

基本方針別重点事業（案）

基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む

<施策>

施策 学びのきっかけとなる機会を提供する
重点事業1 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進
重点事業2 文学の扉事業 (現行計画名称:「文学の扉」事業の推進)
重点事業3 子ども読書活動の推進
重点事業4 学びの入口の充実 (現行計画名称:地域の課題解決に向けた学習支援)

<該当する現状等>

調査名	抽出された現状・課題
保護者用アンケート	・児童生徒が、地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛するが「身につけていない」と回答した割合が54.6%で、「身につけている」の36.2%よりも高い割合。
教員用アンケート	・児童生徒が、地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛するが「身につけていない」と回答した割合が46.7%で、「身につけている」の43.2%よりもわずかに高い割合。
一般市民用アンケート	(現在、調査結果の集計・分析中)
ヒアリング調査	・「地域と学校が相互に理解し合うことに取り組む機会が増えることが、子どもたちの郷土愛を育むことにつながるため、地域の資源から学ぶことが重要」(VC)。 ・「子どもたちの会話が、SNS等を介したものとなり、表情の見えない会話はコミュニケーション力や漢字の読み書きを低下させることが懸念される」(学校長)。

施策 学びのきっかけとなる機会を提供する

<重点事業1-1>

名称	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進 ★生涯学習総務課分	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習総務課（図書館）
		対象	小中学生
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、小中学校や子どもセンター等での講座の実施。オンラインでの学校教育との連携。 ・自治体主体の歴史講座や他部署主催のイベントとのコラボによるフィールドワーク等、町田の歴史資源を活用した地域での事業を展開します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の児童・生徒が地域への理解を深めることで、自分が住む地域について愛着や誇りを持つことができる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市固有の歴史資源を活用する。 ・町田市域の特徴である縄文時代の豊富な考古資料、自由民権運動、養蚕・製糸業などを踏まえ、市域の歴史を学んでもらえる機会とする。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田デジタルミュージアム」の活用をはじめ、小中学校への出張授業では、リモートによる歴史資源の閲覧などに対応することができる。 ・自由民権運動を、多様化するもしくは多様性を受け入れる社会や、人権尊重の思想の第一歩ととらえその意義を伝える。 		

<重点事業1-2>

名称	歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進 ★図書館分	属性	新規
		所管課	図書館・（生涯学習総務課）
		対象	幼児・小学生・中学生・高校生・一般
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小・中・高校及び公共施設等を対象に、文学および町田ゆかりの文学をテーマにした出張事業を実施します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・普段文学館を訪れることがない人たちに対し、ことば・文字・文学の魅力を伝えるとともに、文学館の存在を知って貰うきっかけとなる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・従来、文学館のサービスは来館を前提にしていますが、こちらから出向くことで、より多くの方に文学の魅力を伝えることができます。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより外出が自粛される中で、こちらから出向いて、その魅力を伝えることができる。 		

<重点事業2>

名称	文学の扉事業 (現行計画名称:「文学の扉」事業の推進)	属性	新規
		所管課	図書館
		対象	文学館を利用する全てのお客様
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文学館の根幹を占める事業。 ・より多くの市民に文学やことばに親しんでもらえるよう、町田ゆかりの作家の紹介や文字・ことばの魅力を伝える展覧会を、ことばに関連する他ジャンルを幅広く取り込みながら、より柔軟で多様な内容により実施します。 ・また、若年層を対象とした創作活動などの学習事業を充実します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのお客様が文学の魅力に触れることができる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャンルや表現形態、前例に捉われることなく、魅力的な事業を実施している。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、Youtube を利用した動画配信など、DX にもチャレンジしています。 		

<重点事業3>

名称	子ども読書活動の推進	属性	継続／発展
		所管課	図書館
		対象	子ども、保護者、教員、地域
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進を図るため、「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」を策定・推進します。 ・不読率の高い高校生世代に向けて、読書に興味を持ってもらうよう働きかけます。また、引続き「えいごのまちだ」に寄与すべく、外国語の絵本・児童書の収集についても計画的に推進します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進することで、社会状況の変化や多種多様な情報から、主体的に必要な情報を選択し、自身の考えを形成するなど、これからの時代に必要な能力が育まれる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに図書館のことを知ってもらえるよう、子ども自身の参画を促していきます。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・環境が変化しても対応できるような思考を養うために、読書活動の推進を図って行きます。 		

<重点事業4>

名称	学びの入口の充実 (現行計画名称：地域の課題解決に向けた学習支援)	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習センター
		対象	町田市民全般
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学、ことぶき大学など講座事業の再構築を行う。 ・主催事業の整理統合を行い、学びを広げる「入門講座」群と学びを深める「課題解決支援講座」群への二分化を図る。 ・「入門講座」群は、民間の専門性の活用し、学びに出会うためのきっかけづくりとなる講座を展開していく。 ・「課題解決支援講座」群では、市民の企画・参画により、地域課題の解決に役立つような講座を展開していく。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学びのきっかけづくりを重視した事業展開により、生涯学習活動を行う機会を持たせた市民の割合を増加する。 ・市民企画・参画による地域の課題解決支援講座を進めることで、地域が自ら課題を解決していく取り組みを支援する。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「入門講座群」については、町田市の特性である大学等の教育機関の多さを活用し、民間、とりわけ教育機関との連携を強化していく。 ・「課題解決支援講座群」については、40万都市の人材の豊富さと市民大学などで培われてきた市民参画の伝統を活用し、地域・市民が主体となる事業を展開していく。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・民間を活用することで、きっかけづくりの分野では、学習ニーズのトレンドに即応した事業展開が可能となる。 ・課題解決支援は、主として市民の企画・参画によりテーマを決定するため、市民の要望に応じ、事業を構築していく。 		

基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する

<施策>

施策 多様な学びの機会を提供する

重点事業1 学びのセーフティーネットの充実

(現行計画名称：支援が必要な人への学習機会の提供)

<該当する現状等>

調査名	抽出された現状・課題
数値データ等	・町田市の外国人人口の推移は毎年増加の傾向にあり、2021年は7,090人となっている。このことから、外国にルーツのある児童生徒数も増加していることがうかがえる。
ヒアリング調査	・「外国にルーツがある子どもとその保護者には、言語の違いの問題もあり、地域コミュニティに入りづらいことが課題となっている場合や、子どもの発達に関する悩みも同様の課題から身近に相談できず、コミュニティ形成に関する情報提供等で支援している」(教育相談員)

施策 多様な学びの機会を提供する

<重点事業1>

名称	学びのセーフティーネットの充実 (現行計画名称：支援が必要な人への学習機会の提供)	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習センター
		対象	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な理由により学習の機会が十分に得られていない市民 ・デジタルツールの利用に習熟していない市民
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが平等に学べる環境をつくるため、障がいや生活上の困難など、様々な理由により学習の機会が十分に得られていない市民に対し、学習の機会を拡充します。 ・急激な社会のデジタル化に対応するため、デジタルデバイド対策事業として、デジタルツールの利用方法を学ぶ機会を提供します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学びたい意欲のある誰もが公平に、学習の機会を得ることができる。 (公平性・透明性の担保) ・市民がデジタル化に対応できる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市生涯学習センターのデジタルデバイド対策事業は、講師と受講者が1対1で行う相談形式を取っていることに特色があり、受講者のレベルに応じた対応が可能となっている。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民向けに、急速に進むデジタル化に対応するための学習機会の提供を行うとともに、障がい等の事由で通常の学習機会を享受できない方向けに特化した事業を展開することで、誰一人取り残さない学習機会の提供を図り、SDGs4「質の高い教育をみんなに」の目標に貢献できる。 		

基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する

<施策>

施策 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

重点事業 1 学校図書館の機能強化

施策 学び続けることができる環境を整備する

重点事業 1 生涯学習情報のデジタル化の推進

(現行計画名称：学校情報の発信力の強化)

重点事業 2 歴史資源の保存と活用環境の整備

(現行計画名称：文化財の保存と活用環境の整備)

<該当する現状等>

調査名	抽出された現状・課題
保護者用アンケート	・児童生徒が、地域の伝統や文化を大切に、郷土を愛するが「身につけていない」と回答した割合が54.6%で、「身につけている」の36.2%よりも高い割合。
教員用アンケート	・児童生徒が、地域の伝統や文化を大切に、郷土を愛するが「身につけていない」と回答した割合が46.7%で、「身につけている」の43.2%よりもわずかに高い割合。
一般市民用アンケート	(現在、調査結果の集計・分析中)
ヒアリング調査	・「地域と学校が相互に理解し合うことに取り組む機会が増えることが、子どもたちの郷土愛を育むことにつながるため、地域の資源から学ぶことが重要」(VC)。

施策 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

<重点事業1>

名称	学校図書館の機能強化 ★図書館分	属性	継続／発展
		所管課	図書館
		対象	子ども、教員、学校関係者
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の充実を図る（団体貸出）とともに、しらべ学習等に対応して図書館が選書して提供（学校支援貸出）したり、学校図書指導員への研修に協力します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに読書の習慣化を促し、理解力や表現力、情報リテラシーなどを身に付けさせることができます。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・「町田市新たな学校づくり推進計画」（2021年5月）において、「学校を支えるチーム体制の推進」の必要性が掲げられています。学校外の資源として図書館が新しい学校づくりに貢献できる可能性があります。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は豊富かつ網羅的な資料（情報資源）、図書館資料を専門的見地から取り扱う司書（人的資源）を有し、他自治体・国とも資料の相互利用を中心としたサービスのネットワークを構築しています。 ・また、常に最新の動向を踏まえた資料の収集にも努めています。様々な環境変化に伴う新しいテーマや課題について、図書館の持つ「総合力」で対応していきます。 		

施策 学び続けることができる環境を整備する

<重点事業1>

名称	生涯学習情報のデジタル化の推進 (現行計画名称：学習情報の発信力の強化)	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習センター
		対象	町田市民全般
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供・実施講座におけるデジタル化の推進と民間の活用 ・生涯学習情報のデータベース化、実施講座のアーカイブ化 ・専門相談員（コンシェルジュ要員）の配置 ・学習相談コーディネーター制度の導入。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体が実施している生涯学習の取組を一元的に把握できるようになる。 ・時間や距離の制限なく、学べるようになる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・学習情報の提供について、デジタル化をより一層進めていくことで、市民の利便性を向上するとともに、窓口で専門相談員を配置する。 ・また、学習相談コーディネーター制度を導入することで、デジタル化では解決しないコンシェルジュ機能についても強化を図る。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の推進により、時間や距離の制約なく学べる環境が強化される一方で、デジタル化では解決しないコンシェルジュ的要素については、体制を整備し、人が直接、対応することで補完する。 ・また、デジタル化の推進によって生じるデジタルデバイドの問題について、別途、対策事業を展開し、誰一人取り残されることなく、希望する方が学びに関する情報を取得できるよう、環境を整備する。 		

<重点事業2>

名称	歴史資源の保存と活用環境の整備 (現行計画名称：文化財の保存と活用環境の整備)	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習総務課
		対象	市民
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市固有の歴史資源を適切に保存するとともに、その魅力を発信できるような活用環境を整備する。 (旧基本方針IV-2-2 「町田の歴史情報の提供」統合の意向に基づき下記記載) <ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館の展示リニューアルによって、自由民権運動に全国的、現代的な要素が加味され、通史展示も開始される。このことをきっかけにさらに町田の歴史情報を広く、深く発信することを目的とする解説リーフレットを作成する。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が郷土への理解と愛着を深めることができる。 (旧基本方針IV-2-2 「町田の歴史情報の提供」統合の意向に基づき下記記載) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史に親しむことで町田への誇りや愛着が醸成される。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市固有の歴史資源を活用する。 (旧基本方針IV-2-2 「町田の歴史情報の提供」統合の意向に基づき下記記載) <ul style="list-style-type: none"> ・町田市固有の歴史を伝えることができる。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル媒体の活用をすることで、リモート対応等コロナ禍に即した事業が立案可能である。 (旧基本方針IV-2-2 「町田の歴史情報の提供」統合の意向に基づき下記記載) <ul style="list-style-type: none"> ・解説リーフレットは HP 上で公開し、町田デジタルミュージアムとの連携を検討する。 		

基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める

<施策>

施策 地域での学びを推進する

重点事業1 地域で活動するボランティアの養成・支援

重点事業2 地域での学びの拡充 (現行計画名称：市民提案型事業の推進)

施策 学習成果を活かす機会を整備する

重点事業1 協働による研究・発表の推進

重点事業2 学びのネットワークづくりの促進【新規】

<該当する現状等>

調査名	抽出された現状・課題
一般市民用アンケート	(現在、調査結果の集計・分析中)

施策 地域での学びを推進する

<重点事業1>

名称	地域で活動するボランティアの養成・支援	属性	継続／発展
		所管課	図書館
		対象	保護者、地域など
概要	<p>①おはなし会などの本に関する活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。</p> <p>②おはなし会などの既存のボランティア以外に、新たなボランティア分野を検討・試行します。</p>		
期待する効果	<p>①おはなし会を実施できる担い手の裾野が広がることで、幼少期から本に触れ合う機会を増やすことが出来、良質な読書習慣の形成が期待できる。</p> <p>②ボランティアが気軽に自分の個性を生かした内容で参加でき、市民が主体的に図書館と関わることができる。</p>		
独自性のポイント	・特になし。		
柔軟性のポイント	②市民からの提案に応じて事業を構築していくことも想定しているので、環境変化や市民ニーズへの柔軟な対応が可能である。		

<重点事業2>

名称	地域での学びの拡充 (現行計画名称：市民提案型事業の推進)	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習センター
		対象	町田市民全般
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「まち★チャレ」、「市民大学」等の市民企画・参画型講座を整理し、市民公募など参画の仕組みを整え、拡充する。 ・地区協議会のほか、町内会・自治会や地域市民団体と連携し、主催事業のアウトリーチを推進する。 ・子ども生活部と連携して、子どもセンターなどを活用した家庭教育支援事業を展開する。 		
期待する効果	・市民が自発的に学び、地域の課題を解決していく機運を醸成する。		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市には生涯学習センター・公民館が1館しかないが、各地域に市民センター、コミュニティセンターがある。 ・現在、これらのセンターを地域の学びの拠点としていく構想があり、生涯学習センターがソフトを提供することで、地域を核とした学びのコミュニティづくりを支援する。 		
柔軟性のポイント	・市民、地域との連携を前提とした事業であり、企画段階から市民ニーズを柔軟に取り込むことが可能になっている。		

施策 学習成果を活かす機会を整備する

<重点事業1>

名称	協働による研究・発表の推進	属性	継続／発展
		所管課	生涯学習総務課・(図書館)
		対象	施設利用者、学生・研究者
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらおうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行を実施します。 ・学習・研究意欲のある市民グループや学生・研究者による研究グループ等と協働により史料整理を進めるとともに、研究成果物を公表します。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館で学んだ市民が、その知識や経験を地域で活かし、歴史の学びの輪を広げ、恒久的に継承される仕組みが構築される。 ・生まれた研究成果が新たな歴史を市民に伝える資源となる。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権資料館主催講座の卒業生が学びを継続するために組織した「まちだ自由民権カレッジ同窓会」の分科会が史料の解説や調査に協力している。 ・複数の研究会・市民グループが史料整理・史料解説作業を行い、研究活動をしている。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・重要史料群の整理を進めることで「新町田市史」編さんに向けた準備を進める。 ・検討課題となっている「新町田市史」編さん事業にむけた準備として、研究グループの協力を得て進めている。 		

<重点事業2>

名称	学びのネットワークづくりの促進	属性	新規
		所管課	生涯学習センター
		対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全般 ・生涯学習センター主催事業修了者
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターまつり、ガクマチEXPOなど、学習成果を発表する場の維持、拡充。 ・講座修了生、修了生団体の活動支援。 ・生涯学習ボランティア制度の利用促進。 		
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が学習の成果を今後の生活に活かす。 ・市民が学習の成果を地域に還元する。 		
独自性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・まちだ市民大学では、講座修了後、修了生の組織化に取り組んでおり、これまで環境や福祉などの地域課題に取り組む団体を輩出している。 		
柔軟性のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が学んだ成果をいかして、地域で活躍できるよう、支援を行う。 		